

# Les Amis de l'Orgue de Tokorozawa MUSE



みなさま、こんにちは！4月より所沢ミュージズのオルガニストを務めております<sup>ほやのあみ</sup>梅干野安未です。早いもので就任から2ヶ月が経ちましたが、オルガンスクールも始まり、沢山の新たな出会いに胸が高鳴る日々です。先日4月17日に行われた『500円オルガンコンサート』にお越し下さった皆様、本当に有り難うございました。前任のメルカールトさんと私によるバトンタッチコンサートということで、沢山の温かいお客様に迎えて頂きました。このイラストに似た人物をお見かけの際は、お気軽にお声をかけて下さいね！ホールアドバイザーの松居直美さんにもお力を頂きながら、ホールスタッフの皆さんと一丸となって、ミュージズ大ホールのオルガンをより身近に感じて頂けるよう努めていきたいと思っております。皆様どうぞ宜しくお願い致します！

## ☆まずは自己紹介☆

私は東京芸術大学オルガン科修士課程を卒業後直ぐにフランス・パリに渡り、昨年4月までフランスを中心に勉強、同時にヨーロッパで演奏活動をしておりました。漫画「のだめカンタービレ」でのだめが通った学校・パリ国立音楽院オルガン科を卒業し、カフェでのエスプレッソ立ち飲みも板についた頃、途中一年ほどベルギー・ブリュッセルへ更にオルガンの勉強に。電車でパリとブリュッセルを往復しながらベルギーのフリット（フライドポテト）とビールに舌鼓を打ちつつ、かれこれ6年ほどパリで生活しておりました。



オルガンはもちろん、美術館、バレエといった洗練された芸術。マルシェ（市場）で色とりどりの新鮮なお野菜や果物、チーズを買って、焼きたてのバゲットを思わずパクリと頬張りながらお家へ。お安いワインと合わせて、ささやかな贅沢。気取り屋のパリジャン・パリジェンヌ達に翻弄されながらも、適当と繊細の間、絶妙なバランスで生きるフランス人との生活がなんとも楽しく、刺激的な日々でした。

さて、今回から「オルガン通信」を、「レ・ザミ・ドウ・ロルグ・ドウ・所沢ミュージズ」

## 【Les Amis de l'Orgue de Tokorozawa MUSE】

としまして、魅力的なオルガン情報を発信して行きたいと思っております。

そもそも『<sup>レ・ザミ・ドウ・ロルグ</sup>Les Amis de l'Orgue』とはなにか???そう、これはフランス語です。



レ・ザミ Les Amis は「友達」+ロルグ L'Orgue は「オルガン」=レ・ザミ・ドウ・ロルグで「オルガンの友」

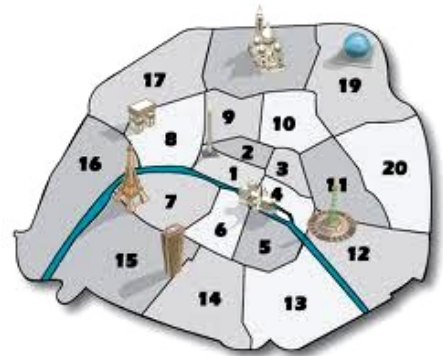
所沢ミュージズのオルガンの友が一人でも増えますようにと願いを込めて。

ミュージズでのオルガン公演に向けての聴き所はもちろん、フランスやヨーロッパのオルガン情報（例えばパリを旅行した方もこれからする方も、ぶらりとオルガンを聴きに行かれるような情報も）など、生き生きとした情報を皆様へお届けします♪

## ☆その① パリの真ん中、一区にあるパリ最大のオルガンのヒミツ!?!☆

記念すべき第一回目ということで、フランス・パリの1区にあるサン・トウスタッシュ教会 L'église Saint Eustache のオルガンをご紹介します！

パリの街は右図のようにセーヌ側を挟んでカタツムリのような渦巻き状に20に分けられ、その中心に1区があります。セーヌ川の右岸、ルーブル美術館やテュールリー公園と言った観光名所が並び、パリを象徴するかのようこの1区。フォーラム・レ・アールという、まるで渋谷のような若者の集まるショッピングモールの裏手、モード系のお店が立ち並びオシャレな界隈に程近いところに、ノートルダム大聖堂と並んでパリ最大のパイプオルガンを有するサン・トウスタッシュ教会があります。一周するだけでも5分はかかりそうな程大きく、16-17世紀にかけて建設されたゴシック建築の美しい外装をもつ教会です。



### ☆オルガン INFO☆

5段の手鍵盤とペダル鍵盤に101ストップ\*を持ち、パイプの数は8千本を超えるこの楽器、その姿はまさに圧巻です。参考までにミュズのオルガンは4段鍵盤にペダル鍵盤、75ストップ、5500本ということで、約1.5倍です！この教会のオルガニストはフランスの奇才ジャン・グー氏。白髪のエレガントな装いに映画俳優を思わせるグー氏は、現在84歳。世界的にも「オルガン界の皇帝」と呼ばれるほどの腕の持ち主です。

このオルガンは19世紀のオルガンケースを使っているので歴史的な楽器のように見えますが、なんとグー氏が全て構想を練ってオランダのオルガン製作者に作らせた、新しいオルガンなのです！音色はとても色彩豊かで、前衛的かつエキセントリックな響きがします。私も一度このオルガンでバッハを演奏しましたが、斬新な響きのバッハに驚いたのを鮮明に覚えています。2階のバルコニーでも演奏できますが、写真にもあるように地上の演奏台でも演奏ができ、コンサートでは演奏姿を身近にみるができますよ。



この教会では、毎週日曜日17時30分から30分間\*\*オルガンの演奏を聴く事が出来ます。皆様、パリへご旅行の際にはこの名物オルガンの響きを味わってみてはいかがでしょうか？



### ☆次回のご案内☆

7月19日(土)の『500円オルガンコンサート』では、山口綾規さんが登場します。クラシックからジャズまで幅広い音楽ジャンルを自在に操るオルガンの魔術師のような山口さん。どのような公演をして下さるか、今からとても楽しみです。皆様、どうかお聴き逃しなく！

\*ストップ(音栓)とはオルガン用語で音色の種類のことをさします。

\*\*2014年6月現在の情報です。